

2022年11月2日

各 位

会社名 (株)テレビ東京ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 石川 一郎
(コード番号: 9413 東証プライム)
問合せ先責任者 経営企画局長 加藤 仁
(Tel. 03-3587-3061)
<https://www.txhd.co.jp>

「成長投資枠 200 億円」の設定について

当社は新たに 200 億円の「成長投資枠」を設定しました。2022 年度からの 3 か年の中期経営計画に追加し、2024 年度末までに投資を実施します。アニメ・配信をはじめ、「WEB3」など新技術を活用したビジネスや通販・EC などの事業領域への資金投入により企業価値の向上につなげます。過去 5 年間に進めてきた収益構造改革によって、放送事業だけに頼らない収益体制が固まりつつあり、今後は稼いだ利益を積極的に成長に向けた投資に振り向けます。

<200 億円の成長投資戦略>

<成長に向けた重点投資分野>

- ① アニメ、配信の国内外の事業拡大
 - ・ベトナムの映像配信サービス運営会社に出資（11月2日発表）
- ② 「WEB3」「NFT」「VR」「メタバース」など新しい技術の研究開発・活用
 - ・シンガポールの NFT ゲームプラットフォーム運営会社に出資（10月27日発表）
- ③ コンテンツ制作力の強化
- ④ 電子商取引（EC）事業の拡大
 - ・ゴルフ用品 EC 企業を子会社化（11月1日発表）

重点投資分野を上記 4 分野とし、同分野で強みを持つスタートアップ企業との接点を増やすため、ベンチャーキャピタルへの投資や M&A も検討します。10 月下旬以降に公表したシンガポールの NFT プラットフォーム運営会社 (Digital Entertainment Asset Pte. Ltd.) への出資、テレビ東京ダイレクトによるゴルフ用品 EC 会社 (株)リアルマックス) の子会社化、ベトナムの映像配信サービス運営会社 (POPS Worldwide) への出資は、この戦略に沿ったものです。

22 年度～24 年度の 3 年間合計の営業キャッシュフロー 300 億円を主な原資と想定し、そのうち 200 億円を成長投資に充てます。

また中期経営計画では、コンテンツ制作投資を3年間で130億円積み増すほか、人的投資も30億円増額する方針も打ち出しています。今回の200億円規模の成長投資と合わせて、収益拡大に向けた取り組みをいっそう加速させます。

- ・コンテンツ投資（制作費）⇒3年間で130億円を上積み
放送、配信を合わせたコンテンツ制作費を増やし、
テレビ東京にしか作れないコンテンツで競争力を高める
- ・人的投資⇒3年間で30億円を上積み
リスクリングの強化やエンゲージメントの向上へ

テレビ東京グループが進めている収益構造改革は、「配信とアニメ」を成長のエンジンとしつつ、EC・通信販売、イベントなども含めて放送事業との相乗効果を発揮させて収益を伸ばす戦略です。23年3月期の中間決算で、テレビ東京の放送事業と、配信・アニメ・イベントなどのライツ事業との事業利益の比率は54対46となりました。19年3月期通期の比率66対34に対し、ライツ事業の割合が向上しており、収益構造改革は着実に進んでいます。

以上